

千葉・東葛エリア

ゲノム健康科学による生活習慣病発症予防へのデュアルアプローチ

事業推進体制

科学技術コーディネータ…菅沼 俊夫
小川 和夫

核となる研究機関

千葉大学、東京理科大学、東京大学

参加研究機関

産…キャノン(株)、(株)ダイナコム、(株)スカイウェア、
(株)バイオマトリックス研究所(株)ポストゲノム研究所、
(株)サミットグライコリサーチ、(株)ビー・エム・エル
プレシジョン・システム・サイエンス(株)
学…千葉大学大学院医学研究院、同大学院薬学研究院、同看護学部、
同付属病院、東京大学大学院新領域創成科学研究科、
東京理科大学基礎工学部、同理工学部、同薬学部
官…千葉市健康増進センター、東葛テクノプラザ、
国立国際医療センター

財団法人 千葉県産業振興センター
〒260-7123 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 (WBGマリアーイスト23F)
TEL. 043-299-2653



研究開発のねらい

千葉・東葛エリアは、千葉大学、東京大学、東京理科大学、国立がんセンター柏研究所支所、(独)放射線医学総合研究所、バイオベンチャーなど、ライフサイエンス分野の集積が高い地域である。本事業では、これらエリアの持つ医学・薬学・ゲノム科学・工学・ITなど融合領域の研究集積を活かし、2つの広域的な産学官共同研究プロジェクト事業を推進する。

研究の内容

1. メタボリック・シンドローム、生活習慣病をターゲットとする融合技術を活用したオーダーメイド健康管理支援システム・デバイスの新規開発

医療分野の研究開発が進展する千葉大学医学部を中心に産学官連携のもと、網膜血管の動画像による動脈硬化度を経時的に評価できる新機器開発や、メタボリック・シンドロームの克服に効果的な双方向性健康管理支援システムの開発・事業化を推進する。

2. 新規抗体マイクロアレイ・タンパク質合成システムによる生活習慣病などの革新的な非侵襲的予測診断システム及び新規創薬ターゲットの開発

東京理科大学や東京大学の大学発ベンチャー3社の参画による産学官連携のもと、ナノ・バイオ技術を駆使した、従来のプロテオーム解析手法とは異なる画期的な網羅的かつ迅速な抗体作成技術の確立や抗体マイクロアレイを用いた生活習慣病・難治性がんの早期診断血清マーカーの開発・事業化を推進する。

千葉県の施策

～千葉県バイオ新産業創出プラン～

